

夏 炉 冬 扇 (3) 濱川勝彦 (4)

主題 子どもに生きる学習法

子どもに主体的な活動を 齋藤一之 (8)

自修創造の体育学習 濱田東起夫 (14)

「楽しい学校」の考察 中谷内政之 (20)

六年月組の学級捕鯨会議 岩井邦夫 (26)

「しごとと学習」捕鯨について考える」の記録―

実践

生活科への指向を考える(その二) 相部芳徳 (34)

「わたしのダイズ作りととうふ作り」の学習指導

「へんしんごっこであそぼう」 都留進 (40)

―おちばやわらをつかって―

「ぼくにげちやうよ」を 梶田萬理子 (46)

読む(二年)

合奏をめざした 嶋守哲夫 (52)

ギターづくり(六年)

■教師の日記 窯出しの日 能多宏子 (32)

■子ども記 好奇心 日和佐尚 (58)

■談話室「爽風」 存在のあかしを求めて 田上昇 (65)

〈実践寄稿〉

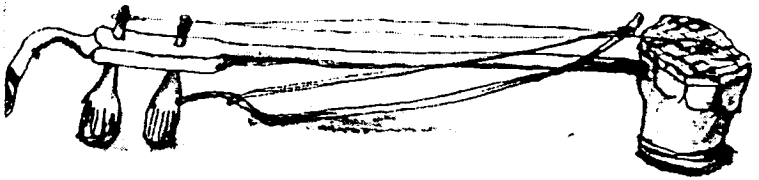
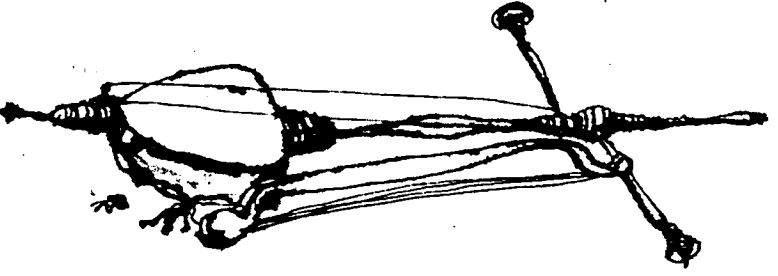
感動が芽を出す風土を願って 近藤憲司 (60)

〈特別寄稿〉

情ある人びとと共に 重松鷹泰 (66)

通信 (71) あとがき (72)

口絵写真…中谷内・郁留 序詩…稲垣 和秋 表紙・カット…嶋守 哲夫



夏 炉 冬 扇 (2) 濱川勝彦 (4)

主題 暮らしを高める力

子どもの生活の実と虚 大津昌昭 (8)

暮らしを高める音楽会 後藤充郎 (14)

生きてはたらく力を 梶田萬理子 (20)

なかよし行事 艸香春治 (26)

—それを支えるものは何か—

実践

子どもの可能性 杉浦正勝 (34)

—「問題を作ろう」の実践報告—

心を通いかわせる毛筆書写の指導 濱田東起夫 (40)

—四年「父母」の実践—

ファンタジーを読む(Ⅱ) 稲垣和秋 (46)

—「つり橋わたれ」(二年)の実践—

〔学校保健〕 暮らしの中での性教育 矢田留美子 (52)

■教師の日記 素晴らしき トライアスロンの島 嶋守哲夫 (32)

■子ども記 僕の名前私の名前 岩井邦夫 (58)

■談話室「爽風」 日本の教育学の創造を 細呂木見良 (65)

〈実践寄稿〉

複々線型の授業 関西広樹 (60)

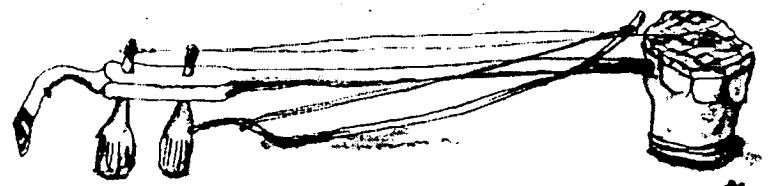
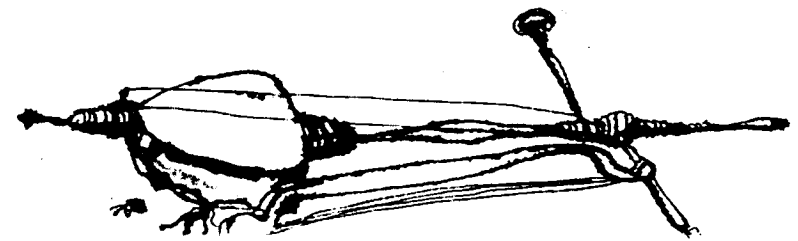
〈特別寄稿〉

健康観察から人間観察へ 竹内宏一 (66)

—「人間科」構築へ向けて—

通信 (71) あとがき (72)

口絵写真：中谷内・都留 序時：都留進 表紙・カット：嶋守哲夫



夏 炉 冬 扇 (1)

濱川勝彦 (4)

主題

学ぶ力を育てる

自らが学ぶ子どもを育てる指導

齋藤一之 (8)

「しごと」で、学ぶ力を高める

相部芳徳 (14)

学習の仕方を育てる

杉浦正勝 (20)

学ぶ力をつける持久走

濱田東起夫 (26)

実践

低学年指導の実際

—主に「しごと」学習の歩み—

中谷内政之 (34)

みかんと牛肉

—五年生わたしたちの食料生産の指導実践—

廣岡正昭 (40)

子どもが主体となる授業をめざして

—五年 空気の学習—

艸香春治 (46)

「博士の時間」の実践—四年生—

能多宏子 (52)

■教師の日記 笛吹童子の心

■子ども記

子どもらしさ—一年生— 日和佐 尚 (32)

■談話室「爽風」

相互学習が 梶田 萬理子 (58)

〈実践寄稿〉

「学級形態論」を生む 増田 勲 (65)

意欲的に問題解決に取り組む子の育成

三年生「百貨店と人々のくらし」の実践を通して

津川 裕 (60)

〈特別寄稿〉

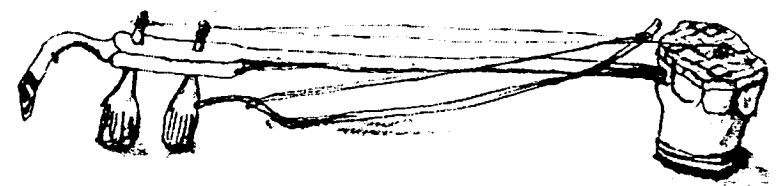
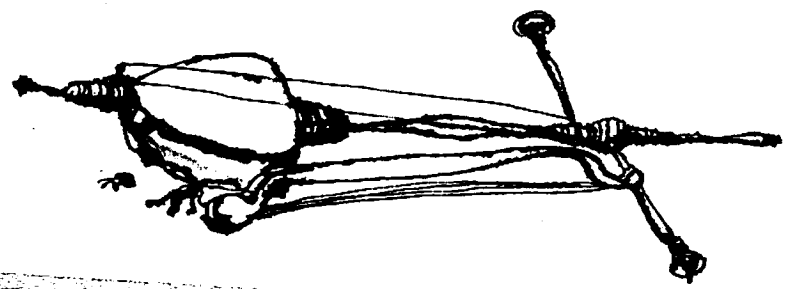
茂手木 潔子 (66)

日本語と歌

通信 (71)

あとがき (72)

口絵写真…中谷内 郁留 序詩…矢田 留美子 表紙・カット…嶋守 哲夫



校長歳時記(最終回)

—本校の教育の未来—

小林 篤 (4)

主題

子どもの生活と教材

「しごと」にみる生活科の学習材

—学習材づくりのポイント—

相部 芳徳 (8)

「広い視野に立った創造的音楽学習」

—感性を育てる音楽学習—

後藤 充郎 (14)

教材開発の姿勢(Ⅱ)

—桜井曹二訓導に学ぶもの—

嶋守 哲夫 (20)

子どもの生活と教材開発の視点を考える

日和佐 尚 (26)

実践

組曲「雲にのって」の授業

フアンタジーを読む

—「ちいちゃんのかげおくり」三年の实践—

大津 昌昭 (34)

「へんしんごっこをしよう」

—二年図画工作の实践—

稲垣 和秋 (40)

「よいチームづくり」を目標に

—五年月組のハンドボールゲームの学習—

都 留 進 (46)

■教師の日記 私事 残余

齋藤 一之 (32)

■子ども記 「しもやけよ帰れ」

濱田 東起夫 (58)

■談話室「爽風」 木下竹次先生の「冷酷な温情」

曾根 靖雅 (65)

〈実践寄稿〉

表現主題を大切にし、自分の作品

を生み出す子ども

岩 井 邦 夫 (52)

〈特別寄稿〉

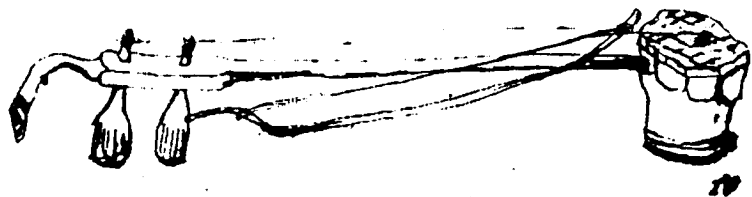
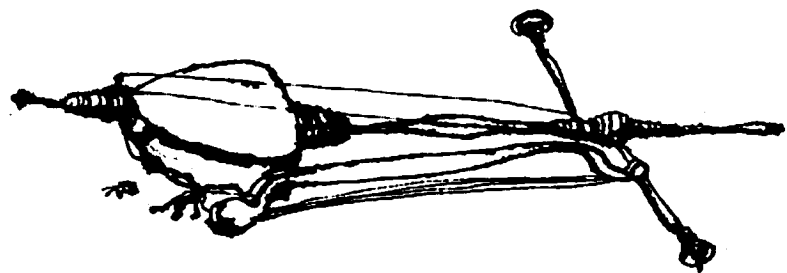
教科教育の目標の反省を求めて

—教育課程の改訂に関連して—

岩 井 隆 司 (60)

通信 (71) あとがき (72)

口絵写真：中谷内・郁留 序詩：廣岡 正昭 表紙・カット：嶋守 哲夫



校長 歳時記 (14)

—再びアーチキュレーション—

小林 篤 (4)

主題 個を伸ばす学習指導

ひとりひとりが生きる学習	齋藤 一之	(8)
よい授業の創造	杉浦 正勝	(14)
一人ひとりを見つめて	稲垣 和秋	(20)
学習指導に「自己表現」と 「自己評価」を	廣岡 正昭	(26)

実践

魚「ヒメダカ」(五年生)の学習 —自然から学ぶ理科学習—	艸香 春治	(34)
---------------------------------	-------	------

石の造形 —小石による「かたちづくり」(五年)の実践—	鳴守 哲夫	(40)
--------------------------------	-------	------

手打ちうどんをつくろう —四年生の学級なかよし活動の実践から—	能多 宏子	(46)
------------------------------------	-------	------

〔学校保健〕 「夏休みのくらし」を調査して	矢田 留美子	(52)
--------------------------	--------	------

■教師の日記 仏にささげる歌と心	後藤 充郎	(32)
------------------	-------	------

■子ども記 九月一日の日記から —二期始業式—	中谷内 政之	(58)
----------------------------	--------	------

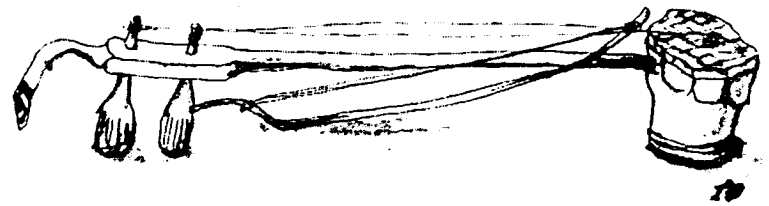
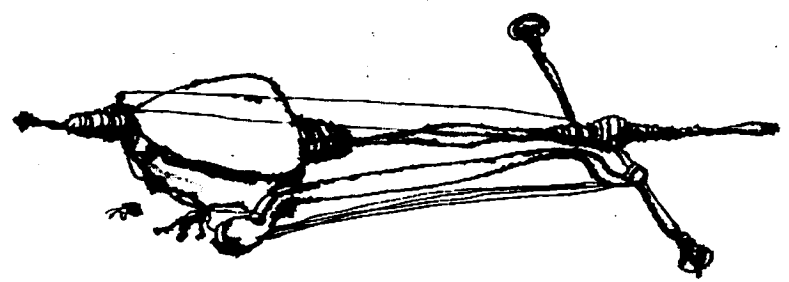
■談話室「爽風」 臨海合宿の思い出	久安 敏男	(65)
-------------------	-------	------

〈実践寄稿〉 個性を生かす場を重視した生活科 (試行)	加藤 隼一	(60)
-----------------------------------	-------	------

〈特別寄稿〉 学習指導における「意欲」の構造 —「意欲」をまず以って問われるべき者は誰か—	杵淵 俊夫	(66)
---	-------	------

通信 (71) あとがき (72)

口絵写真：中谷内・廣岡 序詩：大津 昌昭 表紙・カット：鳴守 哲夫



校長歳時記(13)

—自己学習力を拓く学習法の実践—の刊行—

小林 篤 (4)

主題

子どもをとらえ方・育て方

子どもをとらえる

大津 昌 昭 (8)

「思い込み」の教育

中谷内 政 之 (14)

子どもの心のでる表現を求めて

都 留 進 (20)

子どもとともに学ぶ喜びを味わう

岩 井 邦 夫 (26)

実践

授業記録(和太鼓の響き(四年))

後 藤 充 郎 (34)

「くらしと水」の指導実践その(2)

—「大和川改修工事」—

廣 岡 正 昭 (40)

「おむすびころりん」を読む

梶 田 萬 理 子 (46)

子どもとともにすすめる算数学習

—「いれものを使っての問題づくり」
—「繰り下がりのあるひきざん(二年)」—

日 和 佐 尚 (52)

■教師の日記 ひとりになれるとき

杉 浦 正 勝 (32)

■子ども記 子どもの「席がえ」

相 部 芳 徳 (58)

■談話室「爽風」 年寄りの目

千 代 宏 (65)

〈実践寄稿〉

ことばを手がかりに

自らの読みを深め学び合う授業の構成

西 岡 由 郎 (60)

—四年「こんぎつね」の指導実践を通して—

〈特別寄稿〉

奈良女高師附小の国語科実践研究

—国語科学習指導研究の原点(その二)として—

小 森 茂 (66)

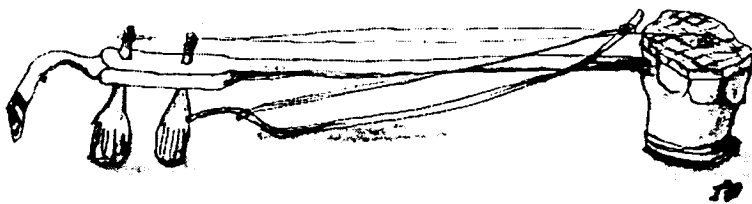
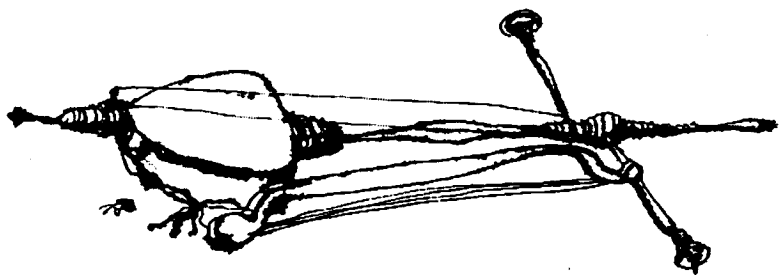
通 信

(71)

あとがき

(72)

口絵写真：中谷内・都 留 序詩：舛 香 春 治 表紙・カッター：嶋 守 哲 夫



学習研究 目次 第三一三号

校長 歳時記

—卒業式式辞—

主題 学習法の体得(Ⅱ)

創造性を育てる教師の姿勢	齋藤 一之	(8)
学習法と子ども	稲垣 和秋	(14)
五月月組の学級捕鯨会議	岩井 邦夫	(20)
—しごと学習「捕鯨」について考える」の記録—		
子どもに生きる造形学習	鳴守 哲夫	(26)

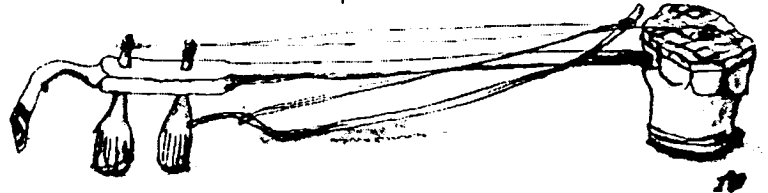
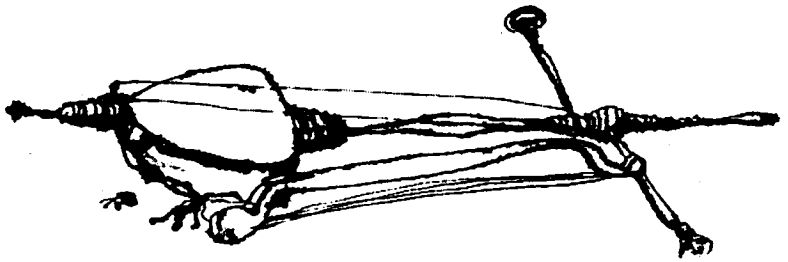
実践

生活科への指向を考える	相部 芳徳	(34)
—「ゆうびんきょくごっこ」の学習指導—		
詩「生きる」(谷川俊太郎作)を味わう	梶田 萬理子	(40)
子どもと「なかよし」	艸香 春治	(46)
—担任第一日目—		
「友だちの話」で学び合う子ども	能多 宏子	(52)
(三年)		

■教師の日記	小さな言葉	大津 昌昭	(32)
■子ども記	三つの音楽会	後藤 充郎	(58)
■談話室「爽風」	悩みからの脱出	土谷 正規	(65)
〈実践寄稿〉			
ひとりひとりを表現主体者に育てるために		大堀 幸信	(60)
—記述後の「作品研究」の授業を軸として—			
〈特別寄稿〉			
味を味わう		重松 鷹泰	(66)

通信 (71) あとがき (72)

口絵写真：中谷内・廣岡 序詩：杉浦 正勝 表紙・カット：鳴守 哲夫



校長歳時記(11)

—行事での挨拶とそれに対する反応—

小林 篤 (4)

主題

学習法の体得(I)

子どもはいかにして学ぶか

杉浦正勝 (8)

学び続ける子ども

浜田東起夫 (14)

学習法で育つ子ども

中谷内政之 (20)

学習法を支えるもの

梶田萬理子 (26)

実践

「和太鼓の響き」の実践(四年)

後藤充郎 (34)

スキー合宿(四年)

嶋守哲夫 (40)

子どもとともにすすめる学習

—いれものあそび(算数かきくらべ(二年))—

日和佐 尚 (46)

〔学校保健〕

赤ちゃんへのや

—四年生女子保健指導—

矢田留美子 (52)

■教師の日記 こんな子どもに育てたい

岩井邦夫 (32)

■子ども記 “カルメラ”の科学

艸香春治 (58)

■談話室「爽風」 奈良女附小を拓いた先輩との出会い

長岡文雄 (65)

〈実践寄稿〉

子どもの「遊び生活」に目を向けた題材開発

—絵画領域を中心に—

都留 守 (60)

〈特別寄稿〉

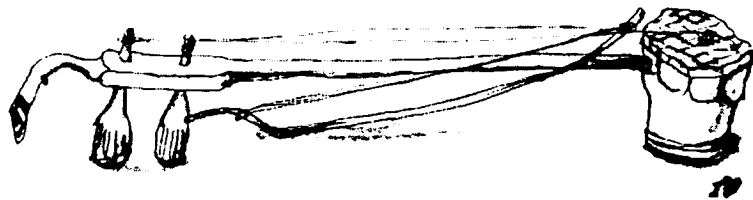
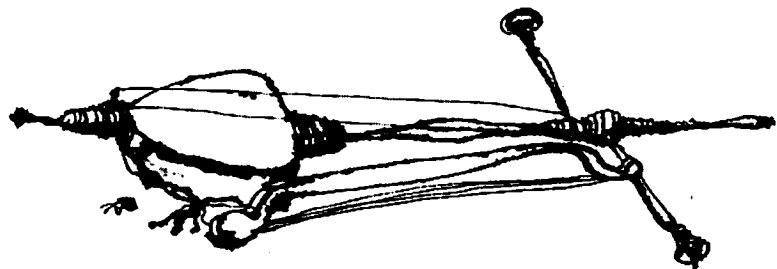
木下竹次における合科学習と

デューイにおける総合学習

杉浦美朗 (66)

通信 (71) あとがき (72)

口絵写真：中谷内・廣岡 序詩：相部 芳徳 表紙・カット：嶋守 哲夫



木下竹次と斎藤喜博(下)

小林 篤 (4)

主題

子どもの願い

新しい自分をつくる

浜田 東起夫 (8)

子どものこころ音

大津 昌昭 (14)

「わかった」と胸をはる子ども

日和佐 尚 (20)

—算数学習における「三つの場」の理論より—

「子ども」の願い

能多 宏子 (26)

—低学年なかよし集会を通して—

実践

民話を読む

稲垣 和秋 (34)

—「かさこ地ぞう」(二年)の実践—

「私たちのわくわく器械忍法ランド」の学習

岩井 邦夫 (40)

—器械運動・五年—

「くらしと水」の指導実践その(1)

廣岡 正昭 (46)

—ぼくのわたしの〇〇川クリーンキャンペーン—

空気の学習(五年生)の実践

艸 香春治 (52)

■子ども記 スキーを楽しむ

矢田 留美子 (32)

■教師の日記 「贈る言葉」よりも「青春のうた」

嶋 守哲夫 (58)

■談話室「爽風」 私にとつての昭和二十年

倉 富 崇人 (65)

〈実践寄稿〉

子どもが音楽と向きあうために

泉 本 信子 (60)

—五年リズムを体験する—アフリカの木琴音楽—

〈特別寄稿〉

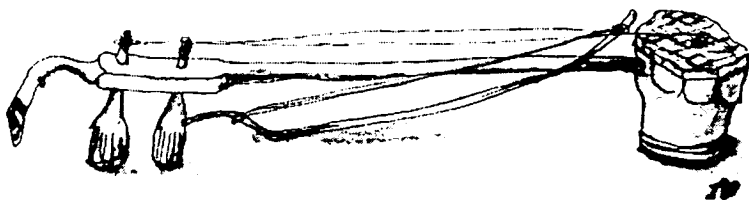
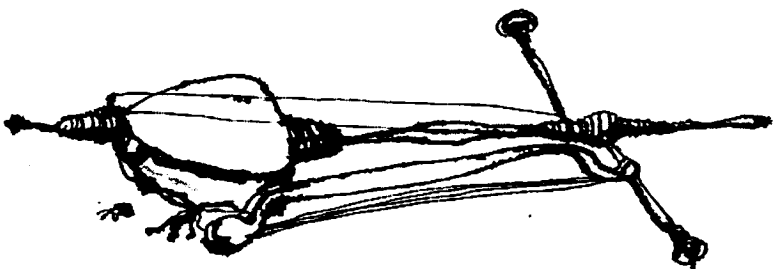
奈良女高師附小の国語科実践研究

小 森 茂 (66)

—国語科学習指導研究の原点として(その一)—

通信 (71) あとがき (72)

口絵写真…中谷内・廣岡 序詞…植田萬理子 表紙・カット…嶋守 哲夫



木下竹次と斎藤喜博(中)

小林 篤 (4)

主題

学び合い深め合う学習

「よい授業」への願望

杉浦正勝 (8)

ケチャを学び合う子ども

後藤充郎 (14)

創造的な自己表現を求めて

都留 進 (20)

考えを深め合う学習指導の要件

齋藤 一之 (26)

実践

楽しい理科学習

中谷内 政之 (34)

—「かめとうさぎ」の実践—

書き込みを軸とした文学教材の学習

稲垣 和秋 (40)

—二年「スイミー」の実践—

わたしの奈良しようかい

廣岡 正昭 (46)

—「商店がいくらべ」の指導実践—

「よだかの星」を読む(六年)

梶田 萬理子 (52)

■教師の日記 「生活科」に思う

相部 芳徳 (32)

■子ども記 子ども心・自然

日和佐 尚 (58)

■談話室「爽風」 私の理科指導の原則

松本 武夫 (65)

〈実践寄稿〉

子ども自らが実動し、想いを深める

斉藤 義照 (60)

社会科学習法の研究

岩永 予 (60)

〈特別寄稿〉

ポピュラー音楽と子ども

坪 能 由紀子 (66)

通信 (71)

あとがき (72)

口絵写真：中谷内・廣岡 序詩：嶋守 哲夫 表紙・カット：嶋守 哲夫

